ninoyu satoshi

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成20年 No.202 4月号

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。
題字：栢木寛照

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

参院総務委、綾部水源の里を視察
地元の悲痛な声を聞く

厳しい環境に政治の光を

参議院総務委員会は、大きな社会問題となっている水源の里(限界集落)を実地視察するため、4月14日、京都府綾部市を訪れた。綾部市は限界集落の再生にいち早く取り組んだ先進自治体である。一行は高齢化率100%で戸数わずか14戸の市志(いちし)地区を訪れ、阪田自治会長から「国会議員の皆様がこの地を訪れてもらったのは、開闢(かいびゃく)以来のことです。有難うございます。現地をよく見て、ぜひとも集落の再生に力を貸してほしい」との悲痛な叫びの挨拶を受けた。その後の懇談会で、四方八洲男市長(全国水源の里連絡協議会会長)は、先ず、水源の里の再生に取り組んだ動機を語り、「環境問題が強く叫ばれている今こそ、水源を守っている里に政治の光を当てるチャンスです。期限切れとなる過疎法には、環境や水源を守っている地元に計画、実行、そして検証まで任せる仕組みを盛り込むべきだ」と総務委員に強く訴えた。

歓迎の挨拶をする阪田・市志自治会長

(三面に関連記事)

恒心

★北京オリンピックの聖火リレーが始まった。ギリシャの採火式では厳戒の中、チベットの弾圧に抗議する人が現れた。パリでは多くの人々が抗議に繰り出したために、厳重な警備の中を聖火が走った。サンフランシスコでは抗議を避けるために、突如コースの変更を余儀なくされた。おそらくこんな聖火リレーはオリンピック史上初めてではないか。★世界各地で抗議活動が繰り返され、人権弾圧に対する声が大きくなれば、北京オリンピックへの不参加を表明する国や選手が続々と出てくるのではないか。平和の祭典が国際紛争のタネになるとは皮肉な光景だ。中国は聖火リレーへの妨害を平和への卑劣な挑戦と言っているが、何故、それほど批判が強いのか謙虚に反省することが必要である。★4月26日に長野市内に聖火が入ってくる。一般国民の抗議デモや妨害活動はないとは思うが、世界各地での抗議が大きくなれば、最近の中国政府の動きに快く思ってない日本人も多いから心配だ。★尖閣諸島をめぐる領有権問題、東シナ海のガス田の開発、毒入り餃子等、今の日中間には懸案の問題が多い。国内の人権問題に熱心なのにチベット人に対する中国政府の弾圧には目を塞いでいいのか。不思議なことに一部の新聞を除いて、マスコミも政府もこれらの問題に沈黙を決め込んだままだ。中国問題になると官民共に弱腰である。

京都で地方公聴会

地方税関連法案、４人の公述人が意見を陳述

全国の都道府県、市町村ではそれぞれの議会で可決成立した予算の下に、行政を運営しているが、肝心の財源(収入)となる地方税制関連３法案が成立していないため、道路整備の新規契約分を中止している自治体が多い。軽油引取税、自動車取得税の根拠となる地方税改正法、東京都、愛知県などの富裕な自治体から徴税する地方法人特別税法、そして交付税の総額を確定する地方交付税改正法は４月８日にようやく参議院総務委員会に付託され審査に入った。重要法案を審査する時、委員会では地方および中央で公聴会を開くことが多い。参議院総務委員会では、地方税制関連法案の審査に役立てるために、４月15日、京都市内のホテルで地方公聴会を開催した。公述人は与野党が各２名を推薦、公述人が15分ずつ所信を述べ、その後各会派の委員が20分づつ質問した。与党推薦は関西学院大学教授小西砂千夫、井手町長汐見明男、野党推薦は連合京都会長木村幹雄、奈良女子大学名誉教授澤井勝の４氏。小西教授が賛成の立場から意見を述べ、汐見町長も「地方の住民は長年、税金を払い続けてきた。都市部から道路整備が行われ、これから周辺部の整備が始まるという時に暫定税率廃止ということになれば、騙(だま)されたと言わざるを得ない。また暫定税率廃止は、道路整備の面だけでなく建設業などの地方経済にも打撃となる」と訴えた。

意見陳述する汐見井手町長

参議院　総務委員会

地方の活性化で二ノ湯政務官に質問

３月27日、参議院総務委員会が開かれ、自民党の河合常則氏(富山県選出)が、質問に立ち、歴史・文化都市京都選出の二ノ湯総務大臣政務官に地域の伝統文化、文化財を活かした地域活性化について、質問した。

○河合常則君

道路などのハードのことだけでなしに、地域の、地方の活性化のために何が大事かなといろいろ考えてみました。私はやっぱり、今ある、それぞれの地域にある伝統的な文化、文化財を使った活性化もあるのではないかと思うのでございます。

ところで、文化財をたくさん持っておられ、そういう機会にあふれておられるだろうと思います二ノ湯政務官に、まずはお考えをお聞きしたいと思います。

○大臣政務官(二ノ湯智君)

地域の活性化につきましては、道路ができればすべて活性化するという意見を持っておりません。地域の持つ文化財とかソフトをどのようにして地域活性化のために生かしていくかということが非常に重要だと思います。京都にはあり余る伝統行事と文化財がございます。先生御存じのように、伝統文化といえば、京都には三大祭がございます。葵祭、祇園祭、そして時代祭と、こういう祭に大変多くの観光客が京都にお越しになる。さらにまた、年末年始のスポーツの祭典、高校駅伝、都道府県対抗女子駅伝に多くの都道府県の応援団が京都に来られる。４月１日から「都をどり」も始まり、これも１ヶ月間続きますが、１日４回の興行が、ほぼ満員になる。冬と夏の観光客が枯れるときには寺院の協力を得て非公開寺院の文化財の公開がございまして、今や通年の観光都市となった京都でございます。そんなことで、先人の遺産を十二分に生かしながら一生懸命地域づくりに、地域の活性化に取り組んでいるのが現況でございます。

ＩＣＴと気候変動の京都シンポジウム

二ノ湯政務官主催国代表挨拶

４月15日に国立京都国際会議場で行われたＩＣＴと気候変動の京都シンポジウムの開会式で、二ノ湯総務大臣政務官は主催国を代表して挨拶をした。

地球温暖化問題はその影響が地球規模に及ぶので、国際的な取り組みが必要である。これまでも地球温暖化に対する取り組みは行われてきた。本年から、京都議定書の第一約束期間が始まり、日本も目標達成に向け、温室効果ガスの削減の取り組みを実施しなければならない。７月にはＧ８北海道洞爺湖サミットにおいて、気候変動問題(地球温暖化問題)が主要議題の一つとされるなど、まさに環境の年である。こうした中、ＩＣＴ(情報通信技術)はその利活用により交通量の削減、生産・物流・消費の効率化などを通じて、電力消費量の削減に大きな効果があり、地球温暖化問題にも貢献できると期待されている。総務省と国際電気通信連合(ＩＴＵ)ではＩＣＴ(情報通信技術)を利活用した温室効果ガスの排出削減を推進するため、「ＩＣＴと気候変動に関する京都シンポジウム」を開催することになった。総務省は当初、東京での開催を希望したが、国際電気通信連合が環境問題の聖地である京都を強く主張、京都に決まった。

二ノ湯政務官、救急業務で意見発表

3月25日、首相官邸で第8回政務官会議が開かれた。毎月2回開かれる会議では、各政務官が所管の仕事について意見発表をすることになっている。この日は二ノ湯総務大臣政務官の当番であった。発言のテーマは「救急業務の現状と課題」。一昨年の8月、奈良県で妊産婦が病院で意識不明になり、他の病院に移ろうとしたが、19もの病院に受け入れを断られ、結果的に死亡した。この事案をきっかけに救急患者の医療機関への受け入れ問題が、大きな社会問題となった。それに加えて、たいした症状でもないのに安易に救急車をタクシー代わりに呼ぶ人が多くなり、本来の救急業務に大きな支障をきたしている。平成19年には520万回も救急車が出動した。救急出動に比例して救急隊が増えないため、救急車が現場に到着する時間、病院まで患者を搬送する時間が大幅に遅れるようになった。現在の救急業務の課題は、救急患者の受け入れ医療機関の確保、そして安易に救急車を呼ばない仕組み・システムを作ることである。出席の政務官から救急車の出動を抑制するために有料制にしてはという意見が出された。

意見発表する二ノ湯氏(首相官邸で)

地域づくり総務大臣表彰表彰式
二ノ湯政務官が祝辞

地域において高齢者が安心して暮らせるまちづくりを進めている自治体やNPO法人、徹底した行革を行い、合併せず単独町制を守り新たな産業創出を推進している町、古い町並みを保存して観光客の誘致に取り組んでいるボランティア団体、地域の環境保全や社会貢献に私財を投じて活動している篤志家など、26団体、3個人が総務大臣表彰を受けた。都市と地方の格差、地方の疲弊がやかましく言われる今日、国や道府県などに過度に頼ることなく、自主独立の精神や行動で、個性的で特色ある町づくり、町起こしを積極的に展開していることは非常に貴重である。総務省ではこのようなユニークな地域づくりの情報を町の活性化の参考にしてもらいたいと全国の自治体に発信している。3月13日に行われた表彰式に、二ノ湯政務官が総務大臣の代理として出席、祝辞を述べた。

ガソリンの買いだめ絶対ダメ
消防庁ガソリンの危険性を広報

揮発油税の暫定税率の失効に伴い、大多数のガソリンスタンドでは、1リットル25円割引で販売している。現在の安い価格のときに、消費者がポリ容器などに買いだめをする心配がある。ポリ容器から車にガソリンを入れる時、火災や爆発事故を招く恐れがあり、大変危険である。消防庁では容器に入れて売る事は法律違反であり、しかも危険であること周知徹底させるために、全国のガソリンスタンドにポスターを配布した。

将来も東京の一人勝ち
人口予測から推測

日本の全ての地域で人口減少が加速する見込みである。なかでも東京は全国最低の出生率である。にもかかわらず、東京圏への一方的な人口流入が続き、平成45年の時点でも東京の人口は若干上向くと予測されている。地方で苦労して産み育てた子供が、大きくなって東京へ流れる。まさに東京の一人勝ちである。東京と地方の格差、過疎地域の解消と口を酸っぱくして叫んでも、東京一極集中が改まらない限り、問題の解決にはならない。少子化問題、出生率の向上を論議するまえに、東京問題をどうするかが先決である。表は30年先までの都府県の人口予測であるが、人口が若干でも増えるのは、東京都と沖縄県だけである。京都府は約40万人の減少と見込まれる。

都道府県別将来人口(単位：千人)

地域	平成17年(2005)	平成47年(2035)	地域	平成17年(2005)	平成47年(2035)
全国	127,768	110,679	(減少県)	32	47
沖縄県	1,362	1,422	秋田県	1,146	783
★東京都	**12,577**	**12,696**	和歌山県	1,036	738
滋賀県	1,380	1,341	青森県	1,437	1,051
神奈川県	8,792	8,525	山口県	1,493	1,103
愛知県	7,255	6,991	島根県	742	554
千葉県	6,056	5,498	高知県	796	596
埼玉県	7,054	6,258	岩手県	1,385	1,040
福岡県	5,050	4,440	長崎県	1,479	1,117
栃木県	2,017	1,744	山形県	1,216	925
京都府	2,648	2,274	愛媛県	1,468	1,127

社会保障人口問題研究所推計値(2007年5月)

京都日韓親善協会、再建へ向けて始動

昭和50年代、京都の有力な政財界人が役員を務めていた京都日韓親善協会は活発な活動をしていたが、平成８年以降、役員の高齢化、死亡等によって、休眠状態が続いていた。歴史的に深いつながりのある隣国同士の友好親善は、東アジアの平和と繁栄にとって非常に重要である。越智通雄(福田首相の義兄)日韓親善協会中央会理事長、千玄室裏千家大宗匠らが京都日韓親善協会再建への手がかりを探っていた。そんな折、昨年11月に「朝鮮通信使再現パレード」が京都市内で行われ、多くの市民の参加と協力によって大成功を収めた。これを契機に親善協会再建の機運が高まり、二ノ湯参議院議員、裏千家(財)今日庵小林哲夫秘書役、金有作在日本韓国民団京都府本部団長らの積極的な支援のもと、具体的な再建運動が始まった。数回にわたり再建会議を開催し、趣旨、規約、役員、事業計画等の骨子が検討され、再建の方向付けがなされた。去る４月４日には、新役員約30名が集まり設立準備会が開催された。６月１日(日)には京都日韓親善協会設立発会式(仮称)が京都ホテルオークラにおいて、千玄室氏、駐大阪韓国総領事らが出席して盛大に開催される予定である。

第179回 みんなで歩こう湯歩会(参加者93名)

八幡市背割堤にて

歩くことは健康の基本

第180回 みんなで歩こう湯歩会

・日　　時：**４月27日(日)**(小雨決行)
・集合時刻：午前８時30分(時間厳守)
・集合場所：南座前(川端四条)
　京阪四条駅８：40発(普通淀駅行)、
　伏見桃山駅９時出発
・コ ー ス：京阪伏見桃山駅→御香宮→乃木神社→桃山御陵→桓武天皇陵→伏見桃山城(新装改築)→伏見桃山新運動場→伏見北堀公園→京阪丹波橋駅解散

。 いよいよ歩こう会には好季節で、新装改築になった伏見桃山城や伏見の名所を訪ねます。

(当日)☎090-1956-7460

身辺雑記

一、平成20年度総務省入省式に出席した。一種合格者いわゆるキャリアは事務、技術職合わせて43名。その内、半分以上が東大出身者。女性も７名いた。中央官庁に女性が進出し、着実に増えていることはいいことだ。

一、株のインサイダー取引で利益を得た３人のＮＨＫ職員が懲戒免職処分となった。マスコミの世界で働く人は一般の人が知ることが出来ない情報に接することが出来る。それだけに秘密を守り、その情報を金儲けのために利用してはならない高い倫理性が求められる。気の毒だが厳しい処分も仕方がない。

一、三度目の正直で、すったもんだの挙句日銀の総裁が決まった。先日参議院で行われた党首討論会で、福田首相は小沢代表に対して、日銀総裁人事で民主党に振り回され、翻弄されたと怒りを露(あらわ)にしていたが、首相の気持ちはよくわかる。一、民主党の責任者は誰なのか、本音を語り、信用できる人がいないというのが本当なのではないか。人事は色々な角度から検討して、適材適所と思われる人を提案している。100％非の打ちどころがない人はいない。民主党よ、もう少し大人になれといいたい。

一、道路特定財源の暫定税率が期限切れとなったためにほとんどのスタンドが値段を下げた。多くの国民は歓迎だろうが、一方で泣いている人もいる。地元事務所が利用しているスタンドは30kℓのタンクが空になる度に75万円の赤字となり、１ヶ月以上この状態が続けば、店がやっていけなくなると主人が嘆いていた。

一、この店、夫婦で朝早くから夜遅くまで働きづめ。一生懸命頑張っている両親の姿をみて、今年大学を卒業して社会人になった娘さんが作業服を着て、手助けしていた。無給の人の手を借りないと店が成り立たないほどスタンドは経営が厳しい。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228